

令和7年度むなかたキャンパスネットワーク協議会 総会

日 時	令和7年7月7日(月) 15:00-16:05
場 所	宗像市役所 北館 202 会議室

1 会長あいさつ(宗像市長 伊豆美沙子)

- ・日頃から宗像市政にご理解、ご協力いただいていることに感謝する。
- ・新しい規約のもとで開催する初めての総会である。
- ・本市が目指す「ずっと住みたいまち宗像」の実現に向け、教育機関の皆様との協働や、地域の若者の力を活かした取り組みは、まちの未来を支える大きな力である。今後も本協議会が、人材育成と地域づくりの重要な場として発展していくことを期待している。

2 自己紹介

- ・福岡教育大学⇒日本赤十字九州国際看護大学⇒宗像高校⇒東海大学付属福岡高校⇒宗像市

3 議長選出

- ・議長：伊豆会長

4 議事

(1) 第1号議案(令和6年度事業報告について)

第2号議案(令和6年度決算報告及び監査報告について)

- ・事務局から議案に基づき説明
- ・監事(日本赤十字九州国際看護大学)から監査報告

〈質疑等〉

なし

〈第1号議案の裁決〉

全員賛成で承認

〈第2号議案の裁決〉

全員賛成で承認

(2) 第3号議案(令和7年度事業計画(案)について)

第4号議案(令和7年度予算(案)について)

- ・事務局から議案に基づき説明

〈質疑等〉

宗高) HP 等を作成し、成果の共有等を行う計画はあるのか。

事務) 現時点では専用のものはないため、検討したい。

宗高) それを含めて学生たちに考えてもらうのも良いと思う。

〈第 3 号議案の裁決〉

全員賛成で承認

〈第 4 号議案の裁決〉

全員賛成で承認

(3) 全体をとおして

〈質疑等〉

なし

4 議長解任

5 情報交換

(福岡教育大学⇒日本赤十字九州国際看護大学⇒宗像高校⇒東海大学付属福岡高校⇒宗像市)

○福岡教育大学

- ・R6 年度の本学における教員採用の正規採用は、369 名で全国 2 位、正規採用と非正規職員を含めた人数は、461 人で全国 3 位であった。就職率は 77.5%、教職大学院の就職率は 100%であった。最近では、採用試験に合格していても、教職大学院で学んで力をつけて先生になりたいという学生が増えている。卒業生数が多いが、他大学と比較しても高い就職率を誇っている。
- ・宗像市内では毎年多くのボランティアや教育実習生を受け入れてもらっている。昨年は学部の教育実習生は 237 名、教職大学院の実習やインターンは 58 名、ボランティアは 228 名の学生を受け入れてもらった。むなかたキャンパスネットワーク協議会での活動も学生にとっては、地域に貢献できるボランティア活動であり、非常に意味のある活動である。学生には様々な活動に参加し、力をつけてもらいたい。
- ・R5 年度から宗像市と福津市の小中学校における教育実習の事前オリエンテーションを 5 月と 8 月に合同で実施している。宗像地区の教育委員会と連携し、教育実習を展開していく。また、東海大学付属福岡高校、宗像高校にも実習を受け入れていただいております、本学の教育実習を地域から強力に支援していただいていることが、教員採用の実績につながっているのではないかと思います。
- ・R6 年度は、附属幼稚園での取り組み（読書活動、「早寝早起き朝ごはん」運動）2 つが文部科学大臣表彰を受け、市長・教育長への表敬訪問も行った。また、今年の 6 月には、全国国立大学附属学校 PTA 連合会による「令和 6 年度 PTA 団体表彰」で、異文化理解を深める活動において「会長賞」を受賞した。
- ・7/19(土)にオープンキャンパスを実施する予定である。今年度からの新たに、福岡県と福岡市と北九州市の教育委員会と連携した「ふくおかティーチャーズガイド」という取り組みを行う。また、昨年に引き続き、教師の魅力発信を行う「うきうき Teacher」を 10/19(日)に実施する予定である。

○日本赤十字九州国際看護大学

- ・昨年度は 66 名が卒業し、国家試験合格率は 100%には達しなかったものの、61 名が福岡県内で就職している。宗像市内での就職は少ないが、いずれ戻ってきてくれることを期待したい。
- ・宗像市とも色々な面で連携をしており、市民に向けた公開講座も様々な分野で行っている。また、宗像市の保健師に協力いただき、研修のお手伝いもさせていただいた。

- ・昨年 8 月に開催された子ども大学では、定員 20 名のところ 190 名の応募があり、急遽 40 名に枠を増やして実施した。子どもだけではなく、一緒に来た母親たちにも喜んでいただけた。
- ・未来創造プロジェクトでは、認知症予防のための日めくりカレンダーを保健師と協力して作成した。
- ・国際交流については、コロナで落ち込んでいたが、徐々に回復してきた。スイスやインドネシアの大学との交流や JICA と協力し、研修などを行った。
- ・部活動もコロナで縮小していたが、復活させる動きがある。今年は吹奏楽部の復活のため、クラウドファンディングを行う。頑張っているので応援してほしい。

○宗像高校

- ・県立の中高一貫校の 1 つとして、今年 11 年目を迎え、10 月には創立記念式典を行う。昨年度末には、卒業式があり、特色化選抜という新しい選抜方式で入学した生徒が初めて卒業した。地元の生徒たちを、責任を持って教育をして送り出していくため、日々試行錯誤を加えながら教育活動をしている。
- ・昨年度は教育大学には 32 名、日赤看護大学には 6 名、進学した。
- ・本校は、文部両道を掲げており、約 8 割の生徒が部活動に所属している。電気物理部は昨年 3 月の日本大会に 2 チームが出場、1 チームが優勝し、ブラジルで行われる世界大会出場することとなった。高額な参加費を賄うため、クラウドファンディングを行ったが、5 月末には、伊豆市長を表敬訪問し、宗像市役所をはじめ、市民の方にたくさんのご支援をいただいたおかげで、150 万円集まった。また学校の同窓会、後援会、PTA にもご支援いただき、生徒の負担を減らすことができた。生徒たちは、色々なことを経験することで、自信が付き、コミュニケーション能力もかなり磨かれてきた。その姿を見て、本校の他の生徒にも良い影響を与えていると感じている。地元から日本に、そして世界にというスローガンのもと、たくさんの生徒が世界で活躍できるような環境をつくり、地元宗像の方々を少しでもリードできるような人材をつくっていけるよう、学校長はじめ職員一同、指導を続けている。
- ・今回の主な地域連携の行事については、5 月末に文化祭があり、昨年同様 3000 人を超える多くの地域の方、保護者の方にご来場いただき、地域連携企画として、地域の方や市役所、そして教育大学、日赤看護大学にブース等を教室内外に作っていただいた。また 9 月の体育祭、そして 10 月の下旬には中学校の創立記念式典があり、中学生たちの日ごろの成果を発表できる場になると考えている。今後も地域の方々との連携を模索し、地域の中で生徒たちを育てていただきたい。地元で課題等がある場合は、生徒たちに考えさせ、課題解決をさせることで、何倍にもなる成果を、引き出していきたいと思っている。

○東海大学付属福岡高校

- ・本校生徒の半分以上は宗像市内からきているが、福岡県内に限らず全国、また海外からも生徒がたくさん来ている。現在一学年が 350 名近くおり、約 1000 人規模の学校になっている。
- ・入試制度等の改革の中で、次年度は授業料無償化があり、中学生の高校選択において大きな変革といえるため、しっかり対応をしていきたいと考えている。
- ・部活動では、女子サッカー部や女子バスケットボール部は毎年全国大会に出場している。また、その他にもインターハイに馬術競技で出場したり、スポーツクライミングで全国大会優勝したりと、新たなスポーツの分野でも活躍してくれている生徒が多くなってきている。

- ・地域連携としては、宗像アカデミークラブの指導者として多くのクラブに関わっており、その他にもグローバルアリーナで行われたワールドラグビーで来日した海外の高校生との交流会にも行った。また昨年度は、宗像市が姉妹都市である韓国の金海市に、生徒の派遣を行った。その他にも、選挙事務体験をさせていただいたり、期日前投票の会場を本校に指定していただいたり、多方面での交流ができている。今後も幅広い世代との交流を続けていきたい。
- ・日本赤十字九州国際看護大学とは、今年度連携をしており、昨年度からの半年間で計 12 回のセミナーを行っていただいた。そのおかげで、日赤看護大への進学を目指す生徒が増えてきている。今後も市や各校との連携をさらに強化をしていくためにもこの協議会に尽力していきたい。

○宗像市

- ・7 月の参議院選挙では主権者教育の一環で、それぞれ大学、高校の敷地を借りて、期日前投票を実施したり、宗像高校や東海大学付属福岡高校の生徒の皆さんに事務従事をしていただいたりとキャンパスネットワーク協議会だけでなく、本市の様々な部署との連携事業にご協力いただいていることにご協力いただいていることに感謝申し上げます。
- ・現在市内には、2 つの大学 2 つの高校があり、来年の 4 月には教育大学の中に、特別支援学校という県立学校ができる。横の連携をさらに強化し、できるだけ早い段階で、教師や看護師の仕事に興味を持ち、理解を深めてもらうため、インターン等の機会も検討していただきたい。今は、仕事の大変さのイメージが先行していて、「子どもを育てる」や「子どもを教え育む」という、喜びのある部分がクローズアップされていないことが多い。宗像にエッセンシャルワーカーを生む大学があることをとても誇りに思っているため、皆様には若い人たちに生の情報を伝えていただき、宗像の子どもが宗像で進学、就職できるようにぜひご協力をいただきたいと思っている。

＝散会＝